

アクサ生命、変額個人年金に参入 金利高で運用環境好転

2024/08/02 02:00 日本経済新聞電子版 566文字

アクサ生命保険は8月末から運用成果に応じ、契約者の受取額が変わる変額個人年金保険の販売を始める。国内外の金利上昇や株高などで運用環境が好転しており、変額年金の魅力は高まりつつある。長寿化が進むなか、退職後を見据えた資産形成ニーズを取り込む。

変額年金は投資対象とする投資信託を組み替えながら保険料を運用する仕組み。運用実績に応じて満期時の保険金や解約返戻金の額が変動し、元本割れとなる可能性もある。

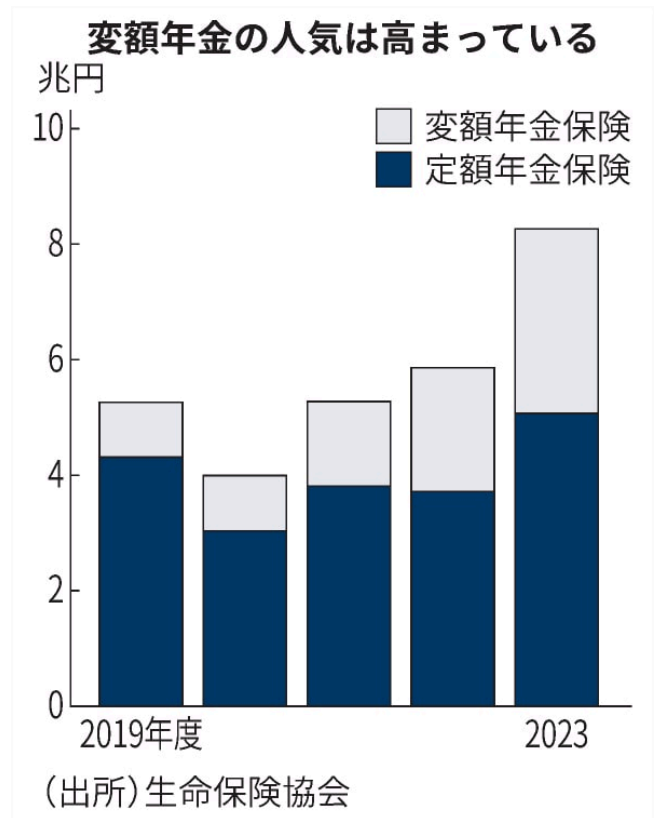
アクサ生命が販売する変額年金は、円建ての保険料を分割して納める平準払い型。毎月少額から積み立てられるため、まとまった資金がない若年層の取り込みも期待する。がんや脳卒中、心筋梗塞と診断され、手術を受けたときなどに一時金を支払うほか、保険料の支払いを不要にする特約を提供する。変額年金の特約としては業界初となる。

近年、老後の資産形成と保障を兼ね備えた商品として変額年金の需要は高まりつつある。生命保険協会によると2023年度の変額年金保険の新契約高は3兆1918億円だった。19年度と比較して約3倍に増えた。

一方、将来受け取る年金額が運用成績で変動しない定額年金保険の新契約高は同期間で2割弱の伸びにとどまっている。変額年金は長期で利率が固定される定額年金と比べて、運用成果によっては受け取る保険金が増える可能性もあり、魅力が高まっている。



アクサ生命は変額個人年金の販売を始める



許諾番号30100229 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報(以下「情報」)の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。
本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。
本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。
Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.